



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月8日

上場会社名 株式会社グローバルインフォメーション 上場取引所 東
 コード番号 4171 URL <https://corporate.gii.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 樋口 莊祐
 問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO兼管理部長（氏名） 杜山 悦郎（TEL）044-952-0102
 半期報告書提出予定日 2024年8月8日 配当支払開始予定日 2024年9月4日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	1,497	△2.7	289	△7.0	320	△7.4	214	△2.6
2023年12月期中間期	1,539	△1.0	311	△14.9	346	△13.2	219	△19.8

（注）包括利益 2024年12月期中間期 214百万円（△2.5%） 2023年12月期中間期 219百万円（△19.8%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	72.64	72.45
2023年12月期中間期	74.63	74.43

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	3,147	2,445	77.7
2023年12月期	2,923	2,290	78.3

（参考）自己資本 2024年12月期中間期 2,445百万円 2023年12月期 2,289百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	26.00	—	26.00	52.00
2024年12月期	—	26.00			
2024年12月期（予想）			—	31.00	57.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

（注）2024年12月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当 26円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,206	9.9	574	9.2	573	1.3	389	1.7	132.08

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2024年12月期中間期	2,962,100株	2023年12月期	2,947,600株
2024年12月期中間期	81株	2023年12月期	81株
2024年12月期中間期	2,950,723株	2023年12月期中間期	2,947,419株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当中間期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2024年8月26日に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、当社ホームページ（<https://corporate.gii.co.jp>）に掲載します。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	11

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年1月1日~2024年6月30日)における世界経済は、ロシア・ウクライナ情勢の長期化に加え中東情勢の悪化等、地政学リスクが高まると同時に、物価上昇、世界的な金融の引き締めに伴う影響が懸念されており、経済情勢は依然として先行き不透明な状況が続いております。日本国内においては、景気が緩やかに回復しつつある一方、物価の上昇や為替変動等が国内経済に与える影響も懸念され、依然として注視が必要な状況となっております。

そうした中、当社グループが属する市場調査レポート出版業界においては、最新の市場動向調査レポートに対するニーズが益々高まっております。一方で、インド、中国系の調査出版会社の台頭や調査出版会社自身による直販部門のシェア拡大等が見られ、事業環境は常に変化しております。

このような状況の下、当社グループは幅広い顧客ニーズに対応するため、当社WEBサイトにおいてレポートをはじめとする商品ラインナップの拡大に努めており、当期からはAIプラットフォーム型コンテンツの取扱いを開始しました。この他、定期的に調査会社との共催セミナーを開催し、関心の高いテーマに関する情報発信に注力しております。販売面では、AI翻訳ツールの提供や顧客の要望に対応したレポートのカスタマイズ提案、及び購買後のアフターフォロー強化等により、顧客満足度の向上に努めました。同時に、各種WEBマーケティング施策や広告媒体への出稿を行い、GIIブランドの認知度向上による顧客基盤の拡大を図っております。また、コロナ禍からの正常化に伴い、国際会議・展示会事業を再開しております。

株式会社ギブテックにおいては、ZETA通信の基本デバイス(基地局、中継器)及びセンサー類を含む自社ブランド製品「JAZE」シリーズの製品ラインナップを拡充し、スマートビルディングをはじめ様々な分野での用途拡大に向け、事業展開しております。また、展示会等のイベントにおいて、非接触にて名刺情報の入手や資料データの提供を行うことができる非接触型情報受け渡しツール「AiMeet(アイミート)」の販売にも取り組んでおります。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は1,497,692千円(前年同期比2.7%減)、営業利益は289,305千円(前年同期比7.0%減)、経常利益は320,570千円(前年同期比7.4%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は214,340千円(前年同期比2.6%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(市場・技術動向に関する情報提供事業)

当セグメントは、取扱商品・サービスの違いにより、市場調査レポート事業、年間情報サービス事業、委託調査事業及び国際会議・展示会事業の4つに区分されております。以下には事業区分別の業績について記載いたします。

(a) 市場調査レポート事業

当社の主力である市場調査レポート事業は、営業部門による顧客フォローを通じて、顧客ニーズの聞き取りや商品提案等の販売活動に努めてまいりました。本社部門においては、市場調査レポートの受注は順調に推移しており、売上高は前年同期を上回りました。海外部門においては、引き続き韓国支店が低調に推移しており、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、市場調査レポート事業全体では、前年同期比2.4%減の1,297,572千円となりました。

(b) 年間情報サービス事業

年間情報サービス事業は、本社部門においては、購読契約期間満了後の期間更新案件の失注等があり、売上高は前年同期を下回りました。海外部門においては、韓国支店が低調に推移しており、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、年間情報サービス事業全体では、前年同期比5.3%減の87,453千円となりました。

(c) 委託調査事業

委託調査事業は、受注状況に持ち直しの傾向は見られるものの、本社部門、海外部門合計の売上高は前年同期を下回りました。

この結果、委託調査事業全体では、前年同期比6.9%減の78,295千円となりました。

(d) 国際会議・展示会事業

国際会議・展示会事業は、海外渡航の規制緩和にあわせて、国際会議・展示会の取り扱い商品を拡大しております。欧米開催の国際会議・展示会参加者数が増加し始めており、本社部門、海外部門合計の売上高は前年同期を上回りました。

この結果、国際会議・展示会事業全体では、前年同期比7.2%増の14,190千円となりました。

以上より、当セグメントの売上高は前年同期比2.8%減の1,477,511千円となり、セグメント利益(営業利益)は300,622千円となりました。

(その他事業)

当セグメントにおきましては、株式会社ギブテックにおけるIoT向け無線通信方式であるLPWA通信に関する製品の販売、受託開発等を主な事業にしております。自社ブランド製品「JAZE」シリーズ及び非接触型情報受け渡しツール「AiMeet」の販売活動を進めており、売上高は前年同期比2.2%増の20,180千円となり、セグメント損失(営業損失)は、11,976千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ、223,927千円増加の3,147,382千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ、196,495千円増加の3,036,909千円となりました。この主な要因は、現金及び預金の328,060千円増加、売掛金の145,717千円減少等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ、27,431千円増加の110,472千円となりました。この主な要因は、繰延税金資産の12,226千円増加等によるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ、68,265千円増加の701,577千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ、60,200千円増加の404,114千円となりました。この主な要因は、未払法人税等の45,078千円増加、賞与引当金の27,988千円増加等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ、8,065千円増加の297,463千円となりました。この主な要因は、役員退職慰労引当金の7,515千円増加等によるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、155,661千円増加の2,445,804千円となりました。この主な要因は、利益剰余金の137,705千円増加等によるものであります。

なお、自己資本比率は77.7%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前連結会計年度末と比べ、471,939千円減少し、1,928,475千円となりました。

当中間連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は370,418千円(前年同期は320,202千円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益320,570千円、賞与引当金の増加27,988千円、売上債権の減少137,129千円、仕入債務の減少25,960千円、法人税等の支払額73,510千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は806,372千円(前年同期は590千円の減少)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出800,000千円、有形固定資産の取得による支出6,358千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は76,082千円(前年同期は66,279千円の減少)となりました。これは、配当金の支払額76,558千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の連結業績予想につきましては、前回公表(2024年2月9日付)いたしました業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,400,367	2,728,427
売掛金	316,919	171,201
商品及び製品	19,566	21,232
原材料及び貯蔵品	13,017	12,618
前渡金	75,157	81,077
その他	15,385	22,351
流動資産合計	2,840,413	3,036,909
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	26,052	25,582
車両運搬具(純額)	-	5,691
工具、器具及び備品(純額)	2,283	1,952
土地	12,939	12,939
有形固定資産合計	41,276	46,167
無形固定資産		
商標権	133	121
ソフトウェア	905	788
その他	465	465
無形固定資産合計	1,505	1,375
投資その他の資産		
繰延税金資産	15,056	27,282
その他	25,204	35,647
投資その他の資産合計	40,260	62,929
固定資産合計	83,041	110,472
資産合計	2,923,455	3,147,382

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	83,004	62,965
未払金	19,016	19,569
未払法人税等	69,524	114,602
未払消費税等	28,763	44,828
前受金	107,770	103,473
賞与引当金	4,727	32,715
その他	31,107	25,960
流動負債合計	343,914	404,114
固定負債		
退職給付に係る負債	18,088	18,638
役員退職慰労引当金	271,310	278,825
固定負債合計	289,398	297,463
負債合計	633,312	701,577
純資産の部		
株主資本		
資本金	162,509	171,553
資本剰余金	141,517	150,561
利益剰余金	1,985,789	2,123,495
自己株式	△145	△145
株主資本合計	2,289,671	2,445,465
非支配株主持分	472	339
純資産合計	2,290,143	2,445,804
負債純資産合計	2,923,455	3,147,382

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	1,539,398	1,497,692
売上原価	828,856	780,514
売上総利益	710,542	717,178
販売費及び一般管理費	399,379	427,872
営業利益	311,162	289,305
営業外収益		
受取利息	155	255
為替差益	34,517	30,645
債務勘定整理益	112	289
助成金収入	57	-
その他	48	74
営業外収益合計	34,892	31,265
経常利益	346,055	320,570
特別損失		
その他	100	-
特別損失合計	100	-
税金等調整前中間純利益	345,955	320,570
法人税、住民税及び事業税	137,623	118,588
法人税等調整額	△11,455	△12,226
法人税等合計	126,167	106,362
中間純利益	219,787	214,208
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△178	△132
親会社株主に帰属する中間純利益	219,965	214,340

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	219,787	214,208
中間包括利益	219,787	214,208
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	219,965	214,340
非支配株主に係る中間包括利益	△178	△132

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	345,955	320,570
減価償却費	1,426	1,596
敷金償却	334	334
株式報酬費用	-	978
賞与引当金の増減額(△は減少)	27,773	27,988
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,034	550
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,560	7,515
受取利息及び受取配当金	△155	△255
助成金収入	△57	-
為替差損益(△は益)	△27,832	△40,097
その他の損益(△は益)	100	-
売上債権の増減額(△は増加)	130,194	137,129
棚卸資産の増減額(△は増加)	△17,329	△1,283
仕入債務の増減額(△は減少)	△25,495	△25,960
その他の資産の増減額(△は増加)	△1,810	3,212
その他の負債の増減額(△は減少)	△13,803	11,394
小計	427,894	443,672
利息及び配当金の受取額	155	255
助成金の受取額	57	-
法人税等の支払額	△107,904	△73,510
営業活動によるキャッシュ・フロー	320,202	370,418
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△748	△6,358
定期預金の預入による支出	-	△800,000
敷金及び保証金の差入による支出	△214	-
敷金及び保証金の回収による収入	372	-
その他	-	△14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△590	△806,372
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	-	476
配当金の支払額	△66,279	△76,558
財務活動によるキャッシュ・フロー	△66,279	△76,082
現金及び現金同等物に係る換算差額	27,832	40,097
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	281,165	△471,939
現金及び現金同等物の期首残高	2,235,911	2,400,415
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,517,077	1,928,475

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	市場・技術動向 に関する 情報提供事業	その他事業	計		
売上高					
市場調査レポート	1,330,027	—	1,330,027	—	1,330,027
年間情報サービス	92,319	—	92,319	—	92,319
委託調査	84,071	—	84,071	—	84,071
国際会議・展示会	13,234	—	13,234	—	13,234
その他	—	19,744	19,744	—	19,744
顧客との契約から生じる 収益	1,519,654	19,744	1,539,398	—	1,539,398
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,519,654	19,744	1,539,398	—	1,539,398
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,519,654	19,744	1,539,398	—	1,539,398
セグメント利益又は損失 (△)	326,704	△16,201	310,502	660	311,162

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、株式会社ギブテックから当社へ発生する業務委託費、地代家賃のセグメント間取引の消去660千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	中間連結損益 計算書計上額 (注)2
	市場・技術動向 に関する 情報提供事業	その他事業	計		
売上高					
市場調査レポート	1,297,572	—	1,297,572	—	1,297,572
年間情報サービス	87,453	—	87,453	—	87,453
委託調査	78,295	—	78,295	—	78,295
国際会議・展示会	14,190	—	14,190	—	14,190
その他	—	20,180	20,180	—	20,180
顧客との契約から生じる 収益	1,477,511	20,180	1,497,692	—	1,497,692
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,477,511	20,180	1,497,692	—	1,497,692
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,477,511	20,180	1,497,692	—	1,497,692
セグメント利益又は損失 (△)	300,622	△11,976	288,645	660	289,305

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、株式会社ギブテックから当社へ発生する業務委託費、地代家賃のセグメント間取引の消去660千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。